



# 生徒指導部だより

第6号

令和2年10月

秋田県立十和田高等学校

生徒指導部 発行

文責：加賀誠幸

## 1年の折返しを過ぎています(後半戦)

2学期が始まり2ヶ月を過ぎました。令和2年度も折返しに入っています。授業や部活動、進路など、今年度に成し遂げたいと考えた目標など達成できているでしょうか。または、目標へ近づいているでしょうか。(どのくらい近づきましたか?)

ぜひ、成果や課題を振り返り、目標達成へ向けて行動して行きましょう。


## 誰もが目標を達成したい・成長したい

私は、スポーツ選手やその指導者、研究者等のお話を聴講したり、関連の書籍を目にしたりすることがあります。以前、『**目標を達成する人とそうでない人**』『**記録が伸びる人と伸びない人**』の話題がありました。いくら才能や能力があっても、やらなければ当然成果はできませんが、『やらされてる』人よりも『**自己責任感が強い**』『**自ら思考する**』『**よく質問する**』など前向きで積極的な人の方が、**圧倒的に目標を達成したり成長したりしている**との事です。

スポーツ分野に限った話ではありませんが、「なあ～んだ 当たり前でしょう!」と流さずに日々の生活を振り返ってみてください。自分が思ったようにいかないことを他人やまわりの環境などのせいにしていませんか?

過去・現在と過ごしている(きた)ほとんどのことは、実は『自分で選んできた(いる)ものばかり』です。他人が自分の人生をコントロールしたり、未来を切りひらいてくれたりするわけではありません。「他力本願」「責任転嫁」の気持ちや態度を改め、将来や目標に向かって自ら考え、行動していきましょう。

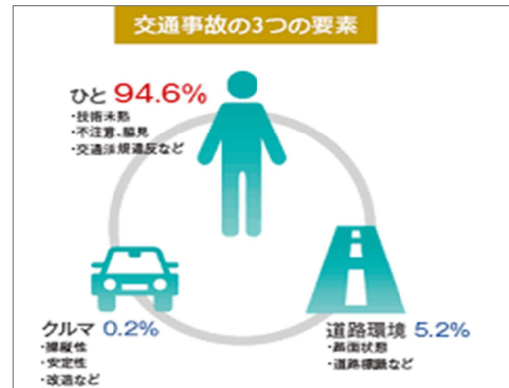


災害安全・交通安全・生活安全の視点  から  
資料を読み解き、実生活へ活かそう！

Q1 事故の発生する要素で最も影響があるのは「車両、道路環境、人」のどれでしょうか。

Q2 事故に遭わないようにするために私たちが直ぐできることは何でしょうか。

☆ポイント：「人」の『認知、判断、行動』



Q3 車両の制動距離を『歩行者』『自転車運転者』『自動車同乗者』の立場からみて、あなたはどんなことに気を付けて生活したいと考えますか。  
(視点：道路を横断するとき、歩道を通行しているとき、自動車に同乗しているときなど)



もし、車が止まれる『手前』で道路を横断していたら・・・

Q4 右の図をみて、自然災害、交通事故、犯罪などの発生確率についてどう感じましたか？(高い、低いなど)

Q5 あなたは、この資料を参考にして、今後どのように生活へ活かしていきますか？

日本の自然災害・事故・病気・犯罪等の1年及び30年発生確率

